

問4 次の(ア)～(ウ)の問いに答えなさい。

(ア) 次のポスターは、中学生のアオバさんが「総合的な学習の時間」で敬語について発表するために作成したものである。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

ポスター

敬意を表す言葉遣いについて考える

【1】疑問をもったきっかけ

所属する放送部で、飲食店がテーマの映像作品を制作することになった。舞台の装飾として利用客の箸とコップを置く棚を設置した。その際、掲示した「ご利用できます」という表現が正しいかどうか部員同士で意見が分かれた。

【2】似たような事例

「この電車にはご乗車できません」が正しいと思う人はどれくらいいるのか。

Q. 敬語が正しく使われていると思うか。	割合 (%)
正しく使われていると思う	59.1
正しく使われていないと思う	27.4
その他の回答	13.5

(文化庁「平成16年度国語に関する世論調査」より作成)

【3】敬語の種類を確認する

- 尊敬語…話題にのぼった人(聞き手を含む)の動作などを高めて、その人に敬意を示す表現。
- 謙譲語…自分側の動作などをへりくだって言うことにより、動作などの受け手に敬意を示す表現。
- 丁寧語…話し方を丁寧にすることで、聞き手に敬意を示す表現。

【4】敬語の種類を踏まえて考える

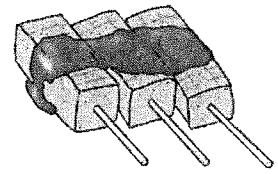
- ・「ご～できる」の形は、自分側の動作などに使われる。
- ・「ご～になれる」の形は、話題にのぼった人(聞き手を含む)の動作などに使われる。
- ・【1】、【2】の場面において、敬意の表し方としては、「利用」及び「乗車」という動作を行う人を高めるべきである。

【5】まとめ

「この電車にはご乗車できません」という言葉遣いは、敬意の表し方として が過半数を占めていることが【2】の調査及び【4】の考察からわかる。今回のポスター作成をとおして、私は、利用客に対する「ご利用できます」や「ご乗車できません」のような表現が適切か否かということについて深く考えず、無意識であったことに気づかされた。これからも日常生活の言葉遣いに注目していきたい。

ポスター中の に、ポスターの内容を踏まえ、「この電車にはご乗車できません」という表現の正誤を明示したうえで、17文字以内の語句を書き、文を完成させなさい。ただし、「正しい」、「誤り」、「人」の三つの語句をそのまますべて用いること。また、句点を用いてはならない。

- (イ) パズルを考えることを趣味としているノゾミさんが、こんにゃくの田楽（串に刺し、味噌を塗った料理）を食べているときに考えた次の (i), (ii) の問いに答えなさい。ただし、あとの文中の串とこんにゃくは、それぞれ、線分と変形しない立体であるものとし、味噌は塗られた面に留まるものとする。



田楽のイラスト

- (i) 幅 4 cm, 長さ 6 cm, 高さ 4 cm のこんにゃくを、一辺が 2 cm の立方体 12 個に切り分けて、**図 1** のように 9 つの面に味噌を塗り、次の**規則**にしたがって串を刺す。

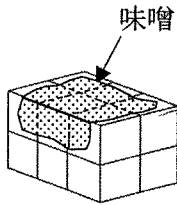


図 1

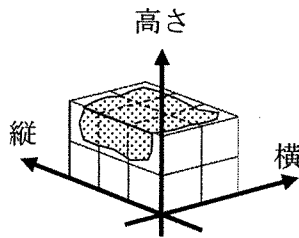


図 2

規則

- 串は**図 1** のこんにゃくを貫通する。
- 一辺が 2 cm の立方体のこんにゃくの辺や頂点は通らない。
- **図 2** で示した縦, 横, 高さのそれぞれの方向に 1 本ずつ, 計 3 本の串を刺す。

立方体のこんにゃくのうち串が刺さらないものの個数を a , そのうち味噌が塗られていないものの個数を b とする。たとえば**図 3** のように串を刺したとき, 12 個のうち串が刺さらないものは 7 個, そのうち味噌が塗られていないものは 4 個であるので, $a = 7, b = 4$ である。**規則**にしたがいながら串を刺す場所を変えると, $a \times b$ の最大値と最小値の組み合わせとして最も適するものを, 次の 1~8 の中から一つ選び, その番号を答えなさい。

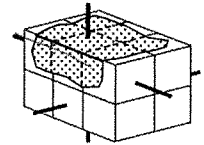


図 3

- | | | | |
|-------------|----------|-------------|----------|
| 1. 最大値 : 42 | 最小値 : 5 | 2. 最大値 : 42 | 最小値 : 6 |
| 3. 最大値 : 35 | 最小値 : 5 | 4. 最大値 : 35 | 最小値 : 6 |
| 5. 最大値 : 35 | 最小値 : 10 | 6. 最大値 : 30 | 最小値 : 5 |
| 7. 最大値 : 30 | 最小値 : 6 | 8. 最大値 : 30 | 最小値 : 10 |

- (ii) **図 4** は一辺が 2 cm の立方体のこんにゃく 7 個を組み合わせたものである。これに相当する部分を一辺が 6 cm の立方体のこんにゃくからくり抜くと, **図 5** のようになる。**図 5** の立体を頂点 A, B, C を通る平面で切ったときの断面の図を, 解答欄にかきなさい。ただし, 境界線は濃くはつきりとかき, 断面部分は斜線 (////) で示すこと。また, 解答欄には辺を 6 等分した点を示してあるので, 必要に応じて利用すること。

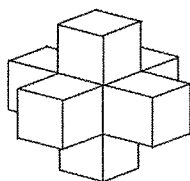


図 4

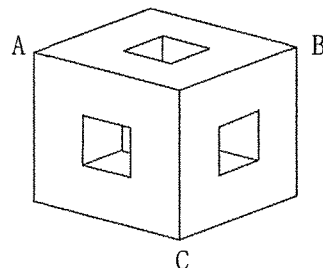
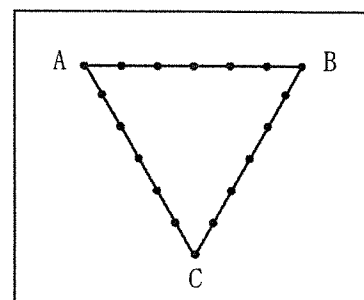


図 5

下書き用



(ウ) ヒカリさんは夏休みの工作で、立体の「あみだくじ」を作った。あとの(i), (ii)の問いに答えなさい。

図6の上部の穴A, B, C, D及び下部の穴a, b, c, dは等間隔にあいており、Aの真下にa, Bの真下にb, Cの真下にc, Dの真下にdが位置する。たとえば図7のように管がつながっているなら、Aに①, Bに②, Cに③, Dに④の玉を入れると、aからは③, bからは①, cからは②, dからは④の玉が出てくる。これを「[3124]あみだくじ」と呼ぶ。このように、4桁の数字で「あみだくじ」の種類を区別することとする。ヒカリさんは管のつながり方を変えたいくつかの「あみだくじ」を作った。

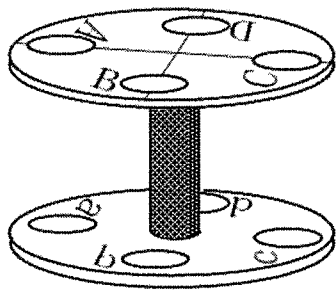


図6

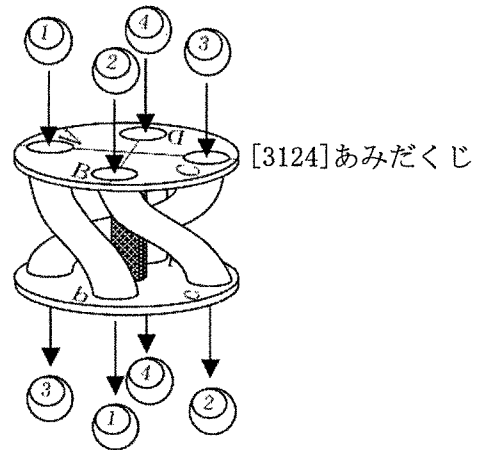


図7

図8は「折り返し部品」といい、「あみだくじ」の下端に連結して「ポケット」で玉を受け止めしておくことができる。図9のように「あみだくじ」の下端に「折り返し部品」を連結して側面を覆い、「☺」「➡」と記す。これを「装置」と呼ぶ。なお、「折り返し部品」は図9の「➡」の方向（「装置」の真上から見て反時計回りに90度刻みで回転させることができる）。

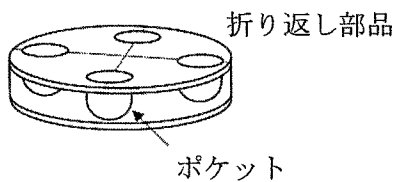


図8

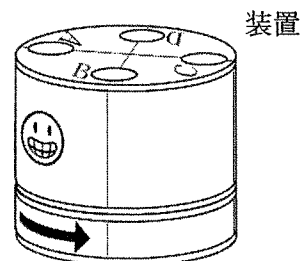
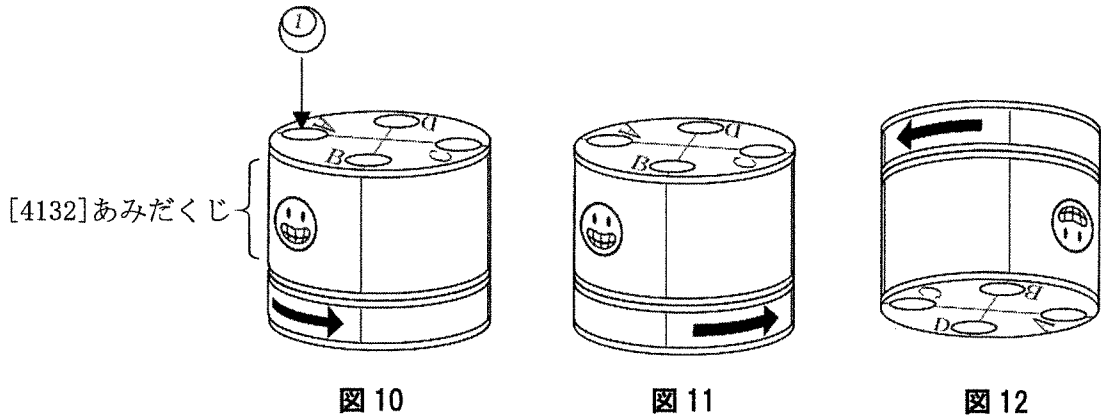


図9

- (i) 新たに「[4132]あみだくじ」の下端に「折り返し部品」が連結された「装置」を考える。仕組みを理解するためにヒカリさんが書いた次のメモ中の空欄 , にあてはまるものとして最も適するものを、それぞれあとの選択肢 1~4 の中から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

メモ

A から①の玉を入れると (図 10), 玉は の下の「ポケット」に入る。そのあと「折り返し部品」を「➡」の向きに 90 度だけ回転させ (図 11), 「装置」全体を上下逆さまにすると (図 12), ①の玉は から出てくる。



- の選択肢
 1. a 2. b 3. c 4. d
- の選択肢
 1. A 2. B 3. C 4. D

- (ii) ヒカリさんはいろいろな「あみだくじ」の下端に「折り返し部品」を連結して「装置」を作り、次のあみだ遊びをしたところ、D から④の玉を入れた場合、すべての「装置」で再びD から玉が出てきた。

あみだ遊び

A~D から好きな穴を 1 つ選び、A なら①, B なら②, C なら③, D なら④の玉を入れる。玉が「ポケット」に入ったら「折り返し部品」を「➡」の方向に (玉の数字 × 90) 度回転させる。そのあと「装置」全体を上下逆さまにして、玉を出す。

あみだ遊びで、B から②の玉を入れたときに玉が D から出てくる「装置」となる「あみだくじ」は何種類あるか、その数を書きなさい。